

佐世保港 港湾脱炭素化推進計画  
【概要版】

---

令和6年3月  
長崎県佐世保市

# 1. 基本的な方針

## (1) 港湾の概要

- ・長崎県北部地域の中央に位置する重要港湾であり、湾口が狭く奥に広がる天然の良港。
- ・造船業や重工業を中心とした生産拠点、物流貿易港としての役割を担っている。
- ・2013年には三浦地区に複合施設が開業、2014年から外航クルーズ船の寄港開始、2020年には浦頭地区において国際クルーズ拠点の整備が完了。
- ・取扱貨物量は直近の10年間で約350万トンから約180万トンと半減、2018年以降はほぼ横ばいに推移。
- ・内貿貨物が8割以上を占め、そのうち移入貨物が7割以上を占める。フェリー貨物が占める割合が最も高く、その他の主要品目は石油関連、砂利・砂、とうもろこしなどを扱う。

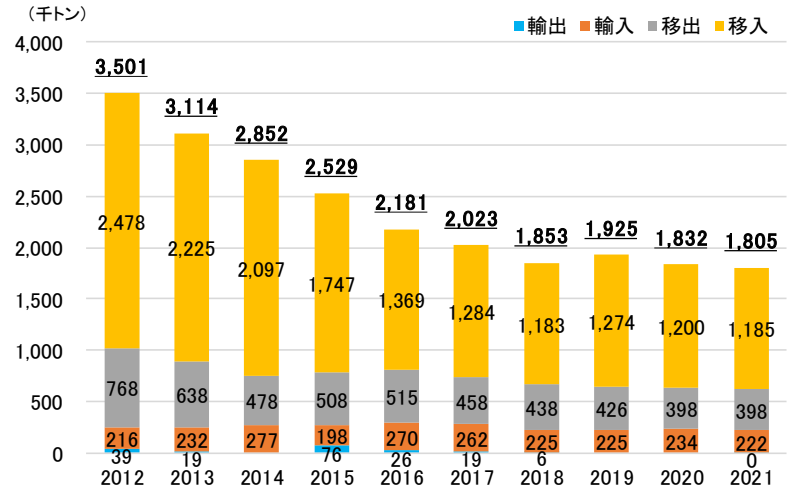


図 佐世保港外内出入別取扱貨物量の推移

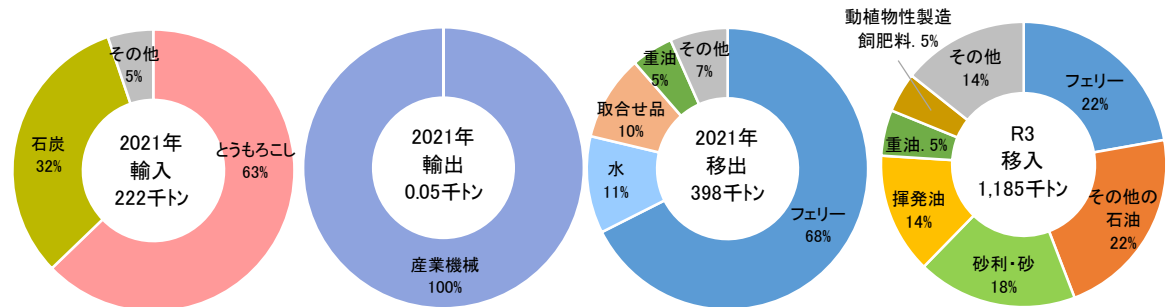


図 佐世保港の輸移出入別品目別貨物取扱比率 (2021年)

# 1. 基本的な方針

## (2) 計画の対象範囲

・佐世保港のターミナルにおける脱炭素化の取組に加え、ターミナルを經由して行われる物流活動や港湾を利用して生産・発電等を行う事業者の活動に係る取組や、ブルーカーボン生態系等を活用した吸収源対策の取組等とする。



航空写真・国土地理院地図

## (3) 取組方針

### ①官民の連携による脱炭素化の推進に資する 港湾の効果的な利用の推進に係る取組方針

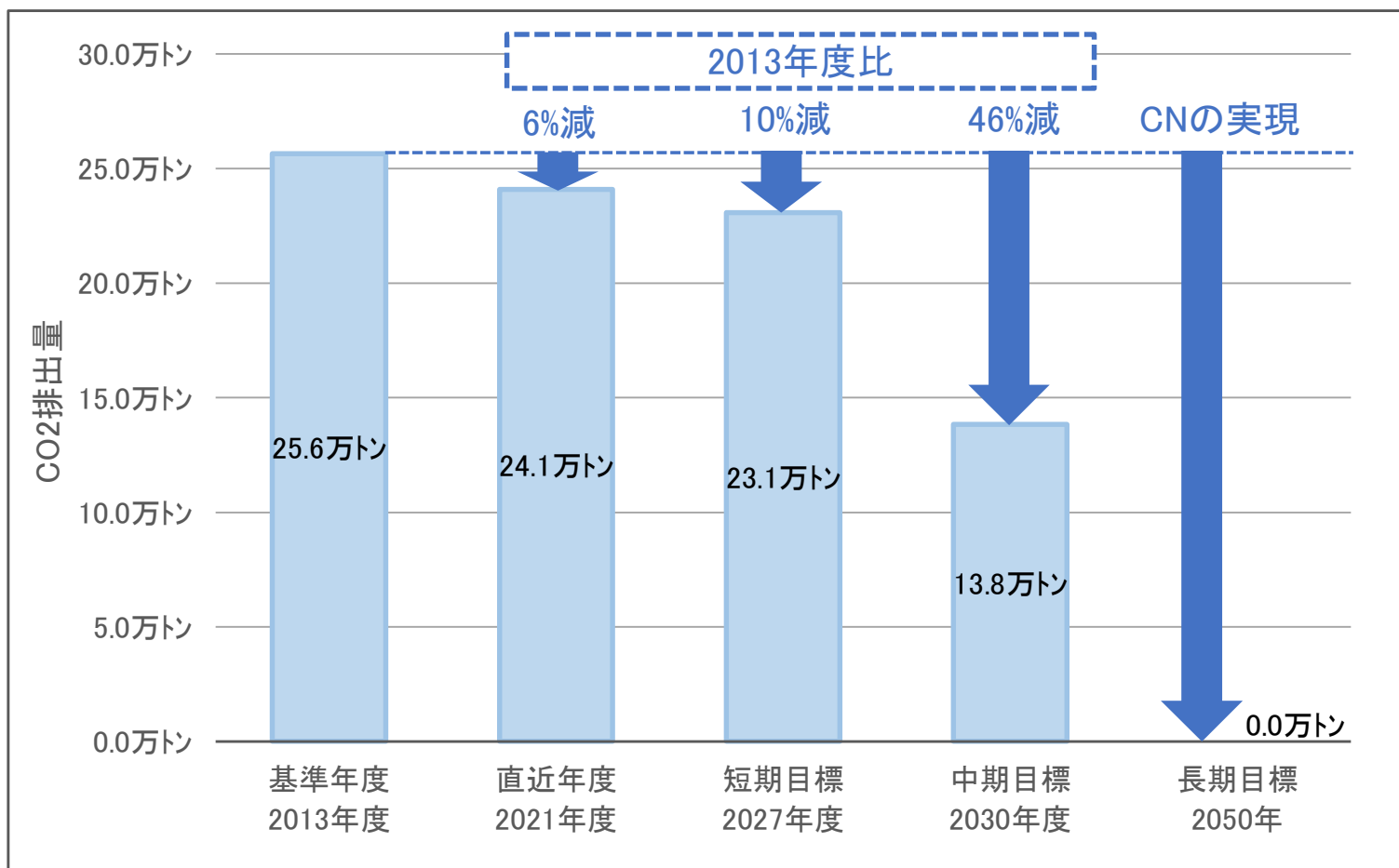
取組方針	取組内容	対象施設等
①船舶における低・脱炭素化	・陸電施設の導入	定期フェリー・高速船・クルーズ船
②ターミナルにおける低・脱炭素化	・太陽光発電システムの導入	ターミナルビル・低未利用地
③工場設備の低・脱炭素化	・燃料転換のための設備導入 ・高効率な設備導入	臨海部に立地する工場・物流倉庫等
④CO2吸収源の拡大	・港湾緑地の整備	轟地区、浦頭地区、浅子地区

### ②港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する取組

- ・港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する取組は、現時点では本計画に位置付けられる回答が得られなかった。
- ・民間事業者等から脱炭素化に貢献する取組の回答が得られたものから、順次計画に位置付ける。

## 2. 港湾脱炭素化推進計画の目標

KPI (重要達成度指標)	具体的な数値目標		
	短期 (2027年度)	中期 (2030年度)	長期 (2050年度)
KPI 1 CO2排出量	23.1万トン/年 (2013年比10%減)	13.8万トン/年 (2013年比46%減)	実質0トン/年



CO2排出量

### 3. 港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体

#### (a) ターミナル内

- ・太陽光発電システムの導入(佐世保市)
- ・照明のLED化(佐世保市、佐世保港湾運輸、西海沿岸商船、九商コーポレーション)
- ・低炭素車両の導入(自動車・トラック)(佐世保市、西海沿岸商船、佐世保港湾運輸、九商コーポレーション)
- ・低炭素荷役機械の導入(重機)(佐世保港湾運輸)
- ・燃料電池フォークリフトの導入(九商コーポレーション)


#### (b) 出入船舶・車両

- ・陸電施設の導入(佐世保市、九商コーポレーション)
- ・低炭素車両の導入(トラック)(森商会)

#### (c) ターミナル外

- ・太陽光発電システムの導入(佐世保製氷)
- ・照明のLED化(西日本鋼業、前畑造船、西部ガス佐世保)
- ・低炭素車両の導入(自動車)(前畑造船、武田商事)
- ・変圧器の更新(西日本鋼業)
- ・コンプレッサの更新(UBE三菱セメント)
- ・非常用発電機の小型化(西部ガス佐世保)
- ・電動式フォークリフトの導入(佐世保製氷、西九州倉庫)
- ・カーボンクレジットの購入(西部ガス佐世保)

**太陽光発電システムの導入**



資料:森本倉庫(株)  
出典:CNPの形成に資する技術・取組に関する事例集

**照明のLED化**



資料:「約75万m<sup>2</sup>を照らす大型LED照明」環境ビジネスオンラインHP  
出典:CNPの形成に資する技術・取組に関する事例集

**低炭素型車両の導入(自動車・トラック)**



資料:トヨタ自動車(株)  
出典:運輸分野における水素・燃料電池の利活用の現状(国土交通省)

資料:日野自動車(株)  
出典:運輸分野における水素・燃料電池の利活用の現状(国土交通省)

**低炭素荷役機械の導入(重機)**



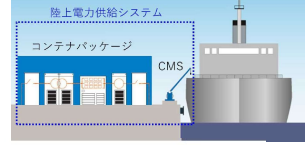
資料:コベルコ建機(株)

**電動・燃料電池フォークリフトの導入**



出典:CNPの形成に資する技術・取組に関する事例集

**陸電施設の導入**



出典:運輸分野における水素・燃料電池の利活用の現状(国土交通省)



図 佐世保港の港湾脱炭素化促進事業

表 港湾脱炭素化促進事業によるCO<sub>2</sub> 排出量の削減効果

項目	(a) ターミナル内	(b) 出入り船舶・車両	(c) ターミナル外	合計
①: CO <sub>2</sub> 排出量(2013年度)	約0.08万トン	約3.0万トン	約22.6万トン	約25.6万トン
②: CO <sub>2</sub> 排出量(2021年度)	約0.06万トン	約3.1万トン	約20.9万トン	約24.1万トン
③: 2021年度からのCO <sub>2</sub> 削減量	約0.03万トン	約0.5万トン	約0.1万トン	約0.5万トン
④: 2013年度からのCO <sub>2</sub> 削減量(①-②+③)	約0.05万トン	約0.32万トン	約1.73万トン	約2.10万トン
⑤: 削減率(④/①)	約69.6%	約11.0%	約7.6%	約8.2%

○今後、脱炭素化の取組の具体化に応じ港湾脱炭素化推進計画を見直し、港湾脱炭素化促進事業へ追加していくことによって目標に向けて削減率を高めていく。

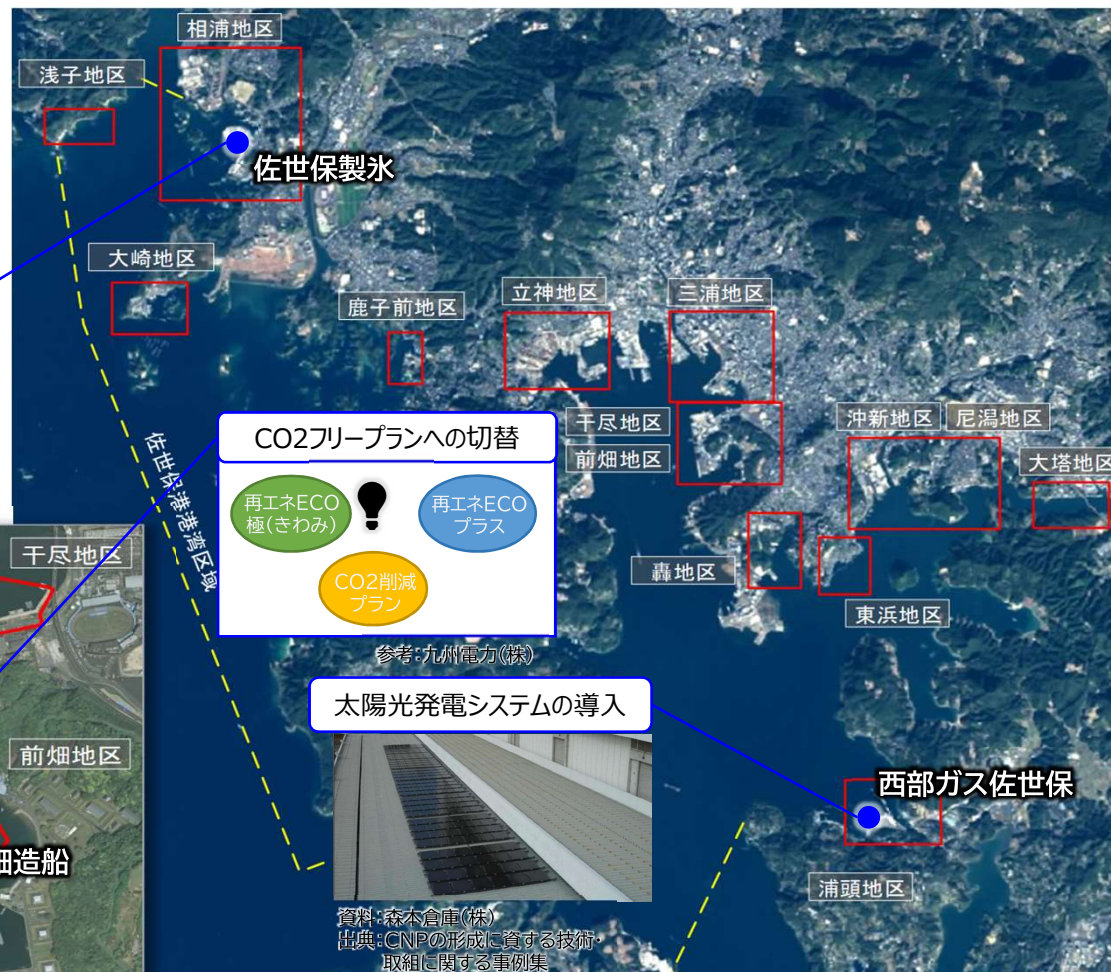
## 4. 港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想

(a) ターミナル内  
なし

(b) 出入船舶・車両  
なし

(c) ターミナル外

- ・ 太陽光発電システムの導入（西部ガス佐世保）
- ・ 低炭素型車両の導入（自動車）（前畑造船、佐世保製氷）
- ・ 低炭素型車両の導入（トラック）（前畑造船）
- ・ CO2フリープランへの切替（西九州倉庫）



低炭素型車両の導入(自動車)



資料:トヨタ自動車(株)  
出典:運輸分野における水素・燃料電池の  
利活用の現状(国土交通省)

低炭素型車両の導入(トラック)



資料:日野自動車(株)  
出典:運輸分野における水素・燃料電池の  
利活用の現状(国土交通省)

図 佐世保港における脱炭素化の促進に資する将来の構想